

令和6年度第3回 合志市地域公共交通協議会 会議録要旨

〔日 時〕 令和7年1月16日（木）14時00分～14時50分

〔場 所〕 合志市役所2階 大会議室

〔出席者〕 松永信弘会長、円山琢也副会長、藤好清一委員、島田忠昭委員、坂本智子委員、竹原憲治委員、徳丸和行委員、野田徹志委員、山野一平委員、小森田政憲委員、佐々木庸敏委員、上松秀樹委員、白石勇人委員、平野光祐委員、横山朋弘委員、工藤康隆委員、原田和彦委員、 笹原維俊委員、保坂照美委員、森山悠委員、大川望委員

〔代理出席〕 今村太郎委員、高松江三子委員

〔欠席者〕 青木正男委員、齊場俊之委員、新納晃幸委員、宗像正洋委員、松本幸子委員

〔事務局〕 佐藤企画課長、八浪主幹、渡邊主事

〔協議事項〕

- (1) 合志市地域公共交通利便増進計画の策定について
- (2) 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

1 開会

佐藤企画課長が開会の宣言

2 会長挨拶

松永会長：公共交通を取り巻く環境は、危機的な状況になっていると考えている。

運転手不足による熊本電鉄の鉄道減便等のニュースが流れしており、公共交通をどのようにして維持していくのか、非常に大きな節目にかかっていると認識している。

本日は、作業部会で検討してきた利便増進計画について意見を頂きたい。

昨年6月19日に協議会を行って以降、計7回の作業部会を実施した。作業部会や様々な場所で市民の方から意見を頂いたが、その意見に100パーセント答えられているとは思っていない。しかし、事務局及び作業部会員に協力していただいて、現時点での最善の案ということで提示させていただいている。

本日は協議会員の皆様から忌憚のない意見をいただきたい。

3 協議事項

協議事項（1）合志市地域公共交通利便増進計画策定について

事務局より協議事項（1）について説明

【主な意見・質問など】

特になし

協議事項（2）地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

事務局より協議事項（2）について説明

協議の結果、出席者の承認を経て原案とおり承認された。

【主な意見・質問など】

竹原委員：目標・効果達成状況に記載している評価値の算出方法を教えてほしい。

事務局：目標のうち「①公共交通機関を使った市内外への移動での乗り継ぎが円滑にできていると思う市民の割合」「③公共交通を利用している人の割合は、市民3,000人を対象に毎年実施している市民アンケートから算出している。「②コミュニティバス等の利用者数」「④市民1人当たりのコミュニティバス等の運行委託料」は、令和5年10月から令和6年の9月までの1年間の利用実績より算出している。

4 その他

小森田委員：レターバスの運行により、会社の売上が悪くなっている。

タクシー事業者は国から許可をもらい運行を行っている。市に長年協力しているが、レターバスは150円で運行しているため、タクシー利用者が少なくなっているということを認識していただきたい。

事務局：作業部会で何度もご指摘をいただき、事務局も何度も話し合いや対応をしてきた。契約の在り方を含め、何か問題がある場合は今後も協議に応じたい。

事務局：1月22日（水）、28日（火）に市民向け意見交換会を開催予定。

5 閉会

佐藤課長が閉会を宣言